

Hirata

平田機工株式会社

第59回定時株主総会



平田機工株式会社

第59期

事業報告

連結計算書類

計算書類

事業報告

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

企業集団の現況

当事業年度の事業の状況

事業の経過および成果

平成22年3月期の概況

● 世界経済

- **世界同時不況の影響による景気後退**
 - ✓ 各国の景気対策により企業収益改善
 - ✓ 最悪期から脱し、一部持ち直しの動き
 - ✓ 個人消費の低迷、デフレ基調
- **企業の収益環境**
 - ✓ 景気回復の自律性乏しい
 - ✓ 先行き不透明感を払拭できない状況

平成22年3月期の概況

- 当社グループ

- 過剰感を背景とした設備投資の手控え

- ✓ 受注価格の低下

- ✓ 受注高および売上高は大幅に減少

平成22年3月期の概況

- 当社グループ

- コスト競争力強化

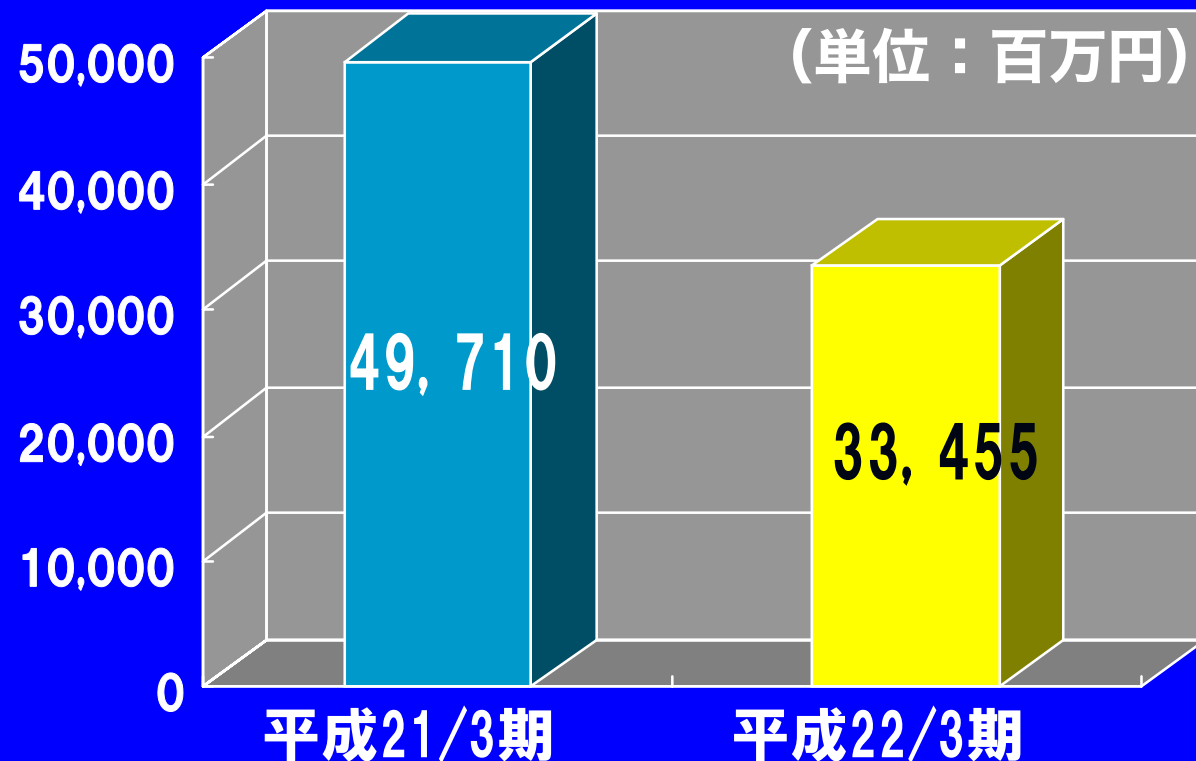
- ✓ 生産体制の再構築や操業調整を実施

- 固定費の大幅な見直し

- 米国大口取引先の売上債権回収

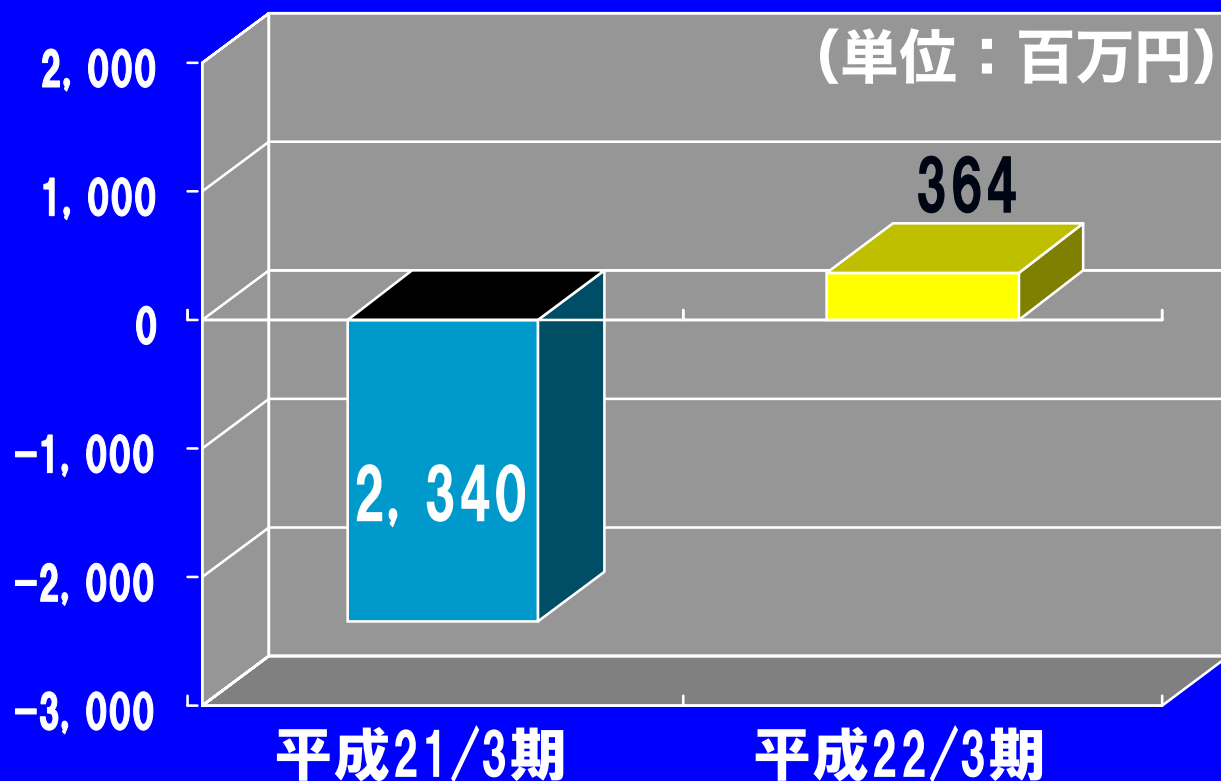
平成22年3月期 連結売上高

33,455百万円
(前期比 32.7%減)



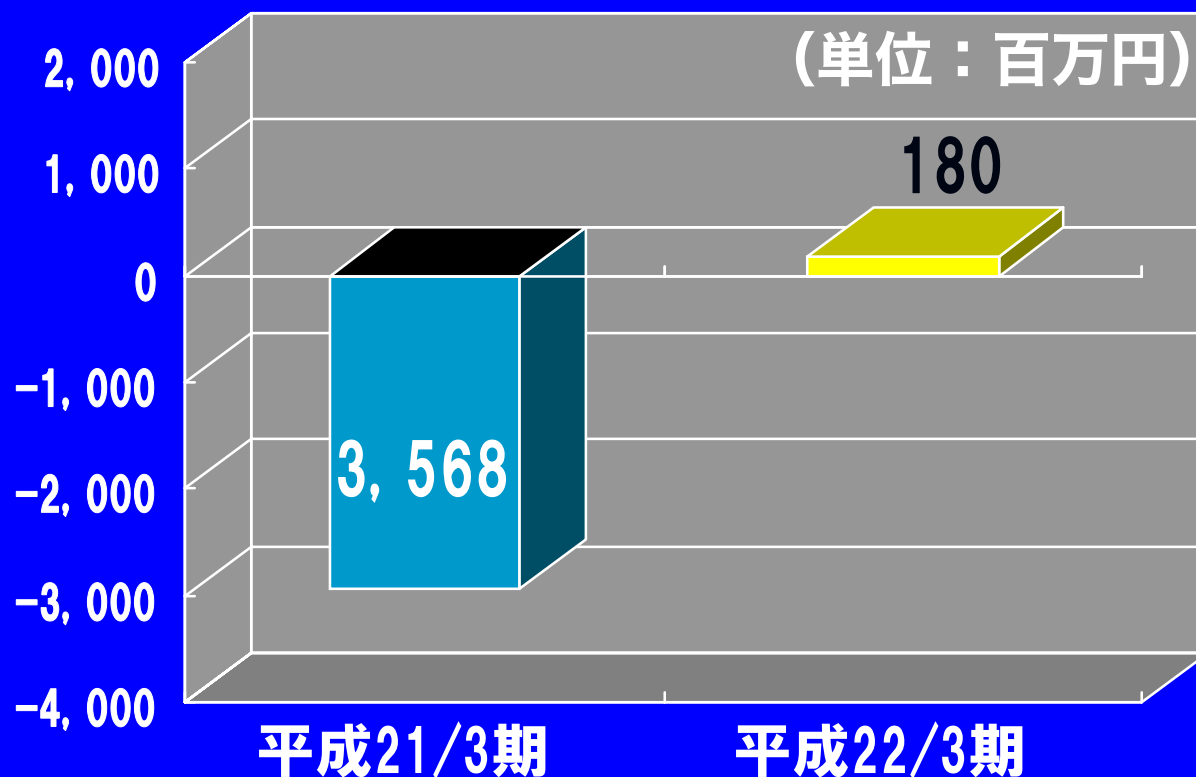
平成22年3月期 連結営業利益

364百万円
(前期は2,340百万円の損失)



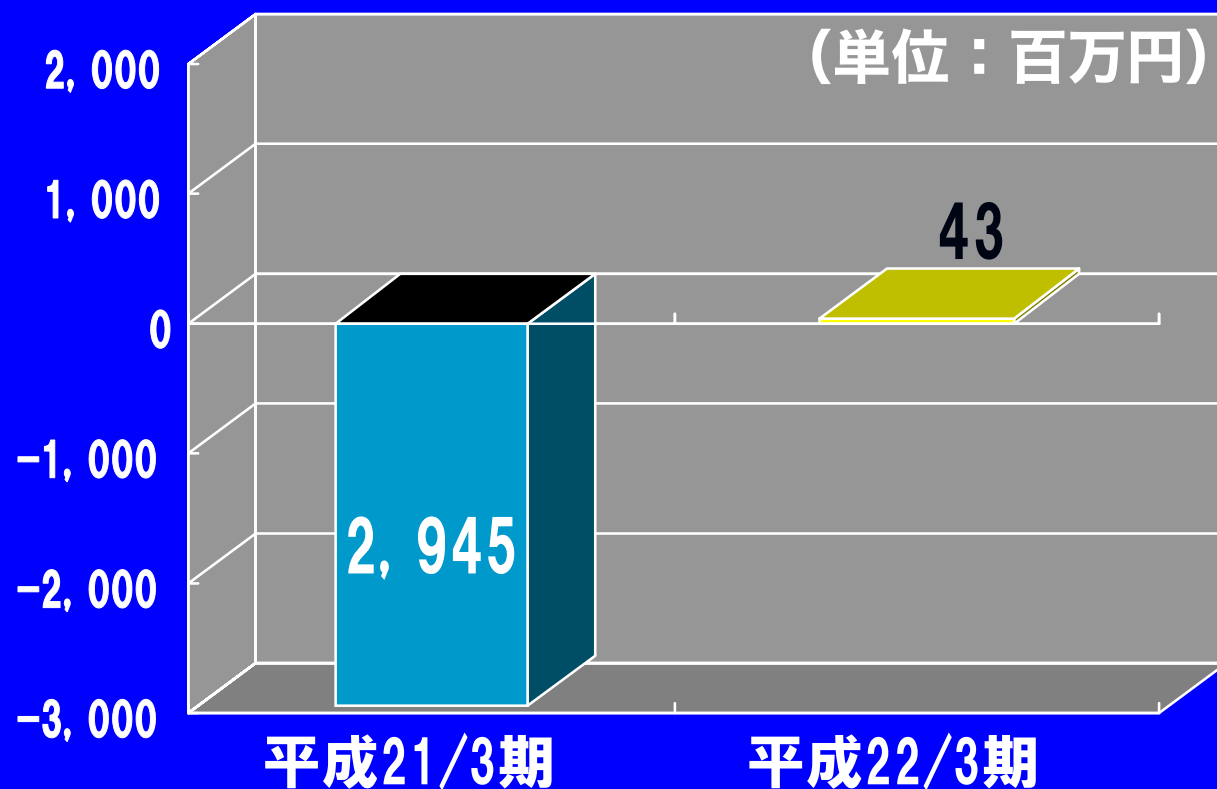
平成22年3月期 連結経常利益

180百万円
(前期は2,944百万円の損失)



平成22年3月期 連結当期純利益

43百万円
(前期は2,945百万円の損失)

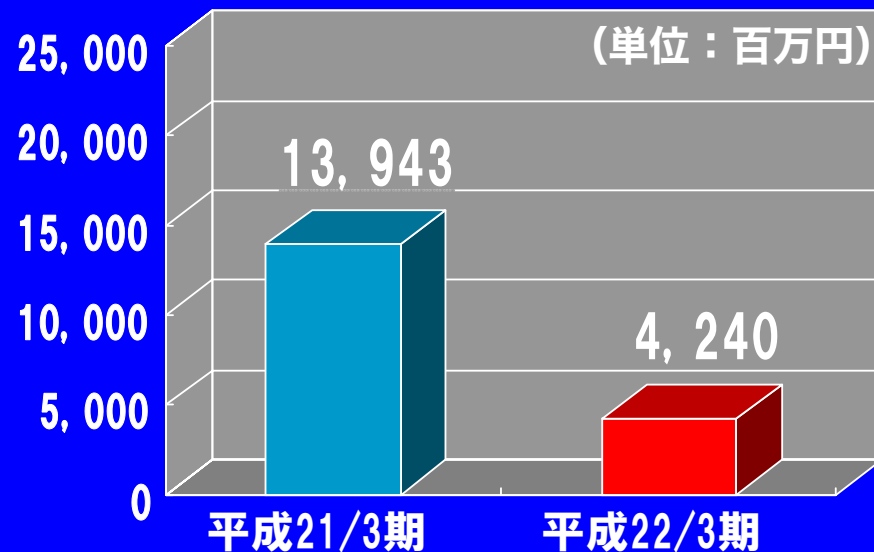


事業別の状況

自動車関連 生産設備事業

自動車関連生産設備事業

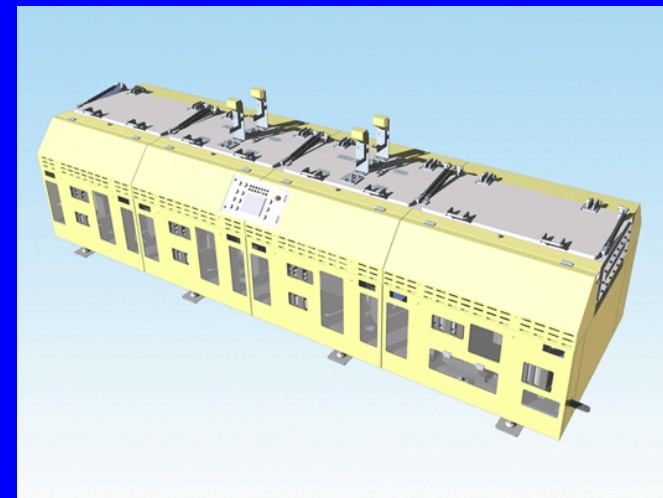
売上高 4,240百万円
前期比 69.6%減



パワートレーン
組立生産設備



自動車部品関連生産設備
ACS-C

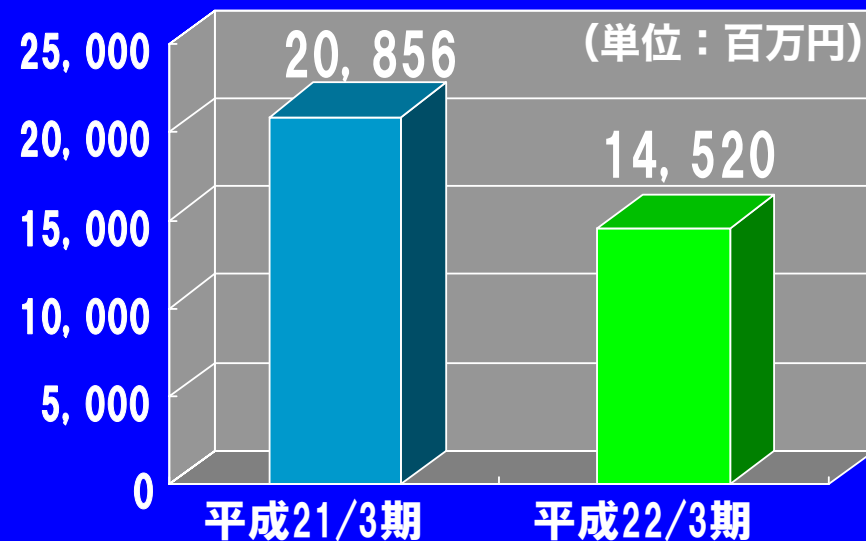


鉛を使わないはんだ付け装置
リフロー炉

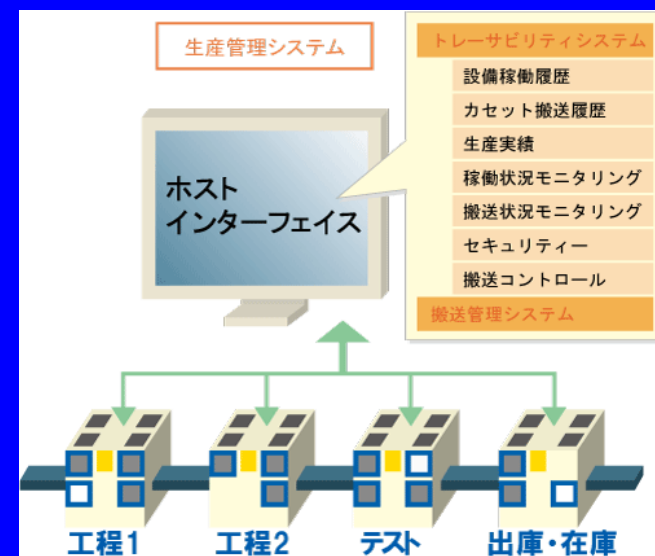
FPD関連 生産設備事業

FPD関連生産設備事業

売上高 14,520百万円
前期比 30.4%減



世界最大級ガラス搬送ロボット



ガラス基板およびソーラーパネル
搬送ロボット

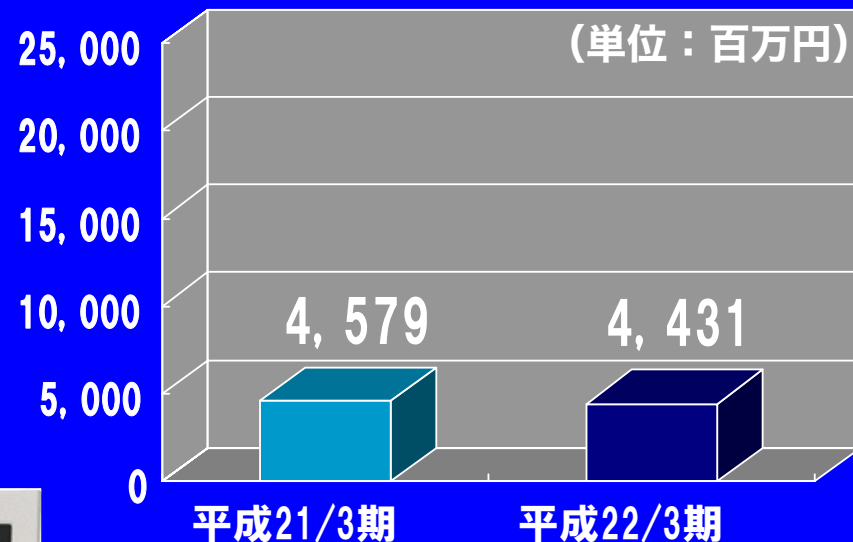
ソーラーモジュール
組立装置

効率を改善する
生産管理システム

半導体関連 生産設備事業

半導体関連生産設備事業

売上高 4,431百万円
前期比 3.2%減



450mm EFEM
(Equipment Front End Module)



新型ロードポート
(FOUFオープナ)

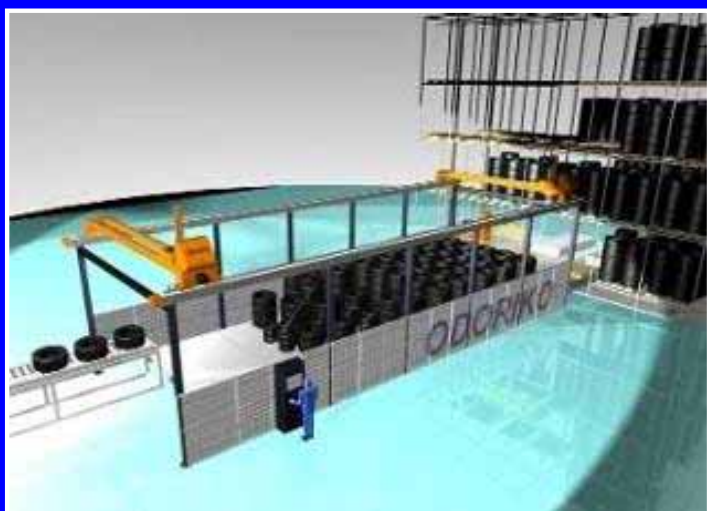
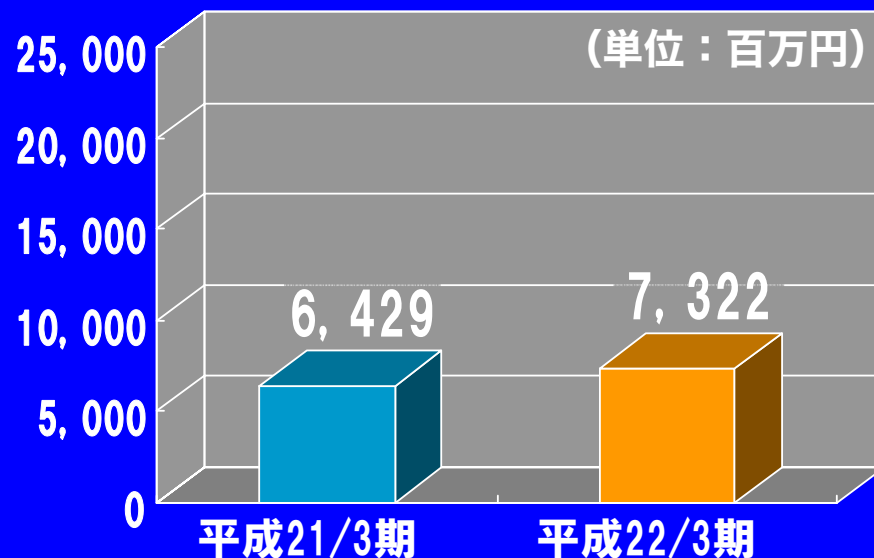


ウェーハ搬送ロボット
(昇降可能、ロングZ)

物流機器および家電関連 生産設備事業

物流機器および家電関連生産設備事業

売上高 7,322百万円
前期比 13.9%増



タイヤ仕分けラックレス
ストッカ



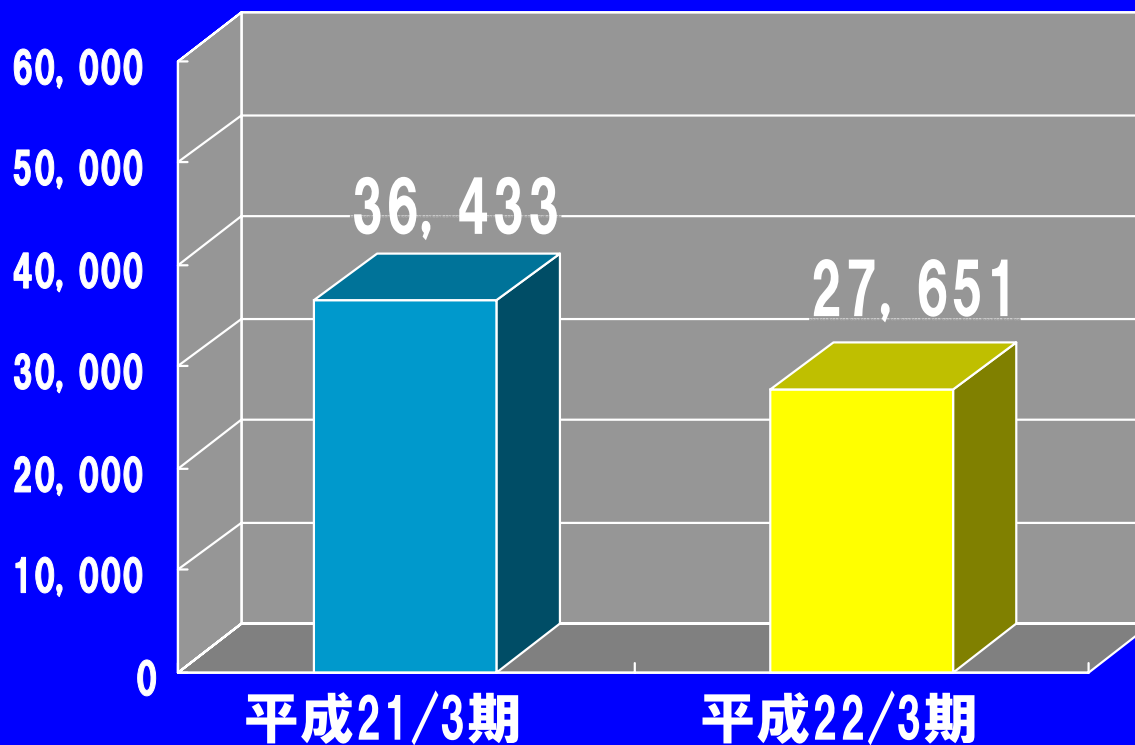
自動倉庫



薄型テレビ自動組立設備

平成22年3月期 受注高

27,651百万円



設備投資の状況

設備投資の状況

当連結会計年度中における重要な設備の
新設、拡充、改修、除却、売却等は、
該当事項がございません。

資金調達の状況

資金の調達につきましては、お手元の

招集ご通知の4ページをご参照ください。

- **事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況**
- **他の会社の事業の譲受けの状況**

につきましても、該当事項はございません。

- **吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況**

当社子会社であるHirata Corporation of Americaを存続会社とする吸収合併により、当社子会社であるHirata Engineering Inc.は消滅しております。

- **他の会社の株式その他の持分または
新株予約権等の取得または処分の状況**

につきましては、該当事項はございません。

- **直前3事業年度の財産および損益の状況**
- **重要な親会社および子会社の状況**

につきましては、

4ページから5ページをご参照ください。

6ページに記載しております、

・ 対処すべき課題

につきましては、

後ほど詳細をご説明いたします。

- **主要な事業内容**
- **主要な営業所および工場**
- **使用人の状況**
- **主要な借入先の状況**
- **その他企業集団の現況に関する重要な事項**

につきましては、
7ページから9ページをご参照ください。

会社の現況

- 株式の状況
- 新株予約権等の状況
- 会社役員 の 状況
- 会計監査人の状況
- 業務の適正を確保するための体制
- 会社の支配に関する基本方針

につきましては、

10ページから16ページをご参照ください。

連結貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

連結貸借対照表

資産の部

主要科目	金額 (千円)	増減率
流動資産	31,018,220	△ 30.9 %
固定資産	20,776,680	△ 9.0 %
資産合計	51,794,901	△ 23.5 %

連結貸借対照表

負債の部

主要科目	金額 (千円)	増減率
流動負債	22,313,094	△ 34.5%
固定負債	12,846,603	△ 24.4%
負債合計	35,159,698	△ 31.2%

連結貸借対照表

純資産の部

主要科目	金額 (千円)	増減率
資本金	2,633,962	—
資本剰余金	2,322,634	—
利益剰余金	8,029,006	△ 0.5%
評価・換算差額等	3,624,753	+ 1.5%
純資産合計	16,635,202	+ 0.1%
負債及び純資産合計	51,794,901	△ 23.5%

連結損益計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

連結損益計算書

主要科目	金額 (千円)	増減率
売上高	33,455,328	△ 32.7%
営業利益	364,348	—
経常利益	180,976	—
当期純利益	43,978	—

- **連結株主資本等変動計算書**
- **連結注記表**

につきましては、

19ページから31ページをご参照ください。

- **貸借対照表**
- **損益計算書**
- **株主資本等変動計算書**
- **個別注記表**

につきましては、

32ページから43ページをご参照ください。

対処すべき課題について

対処すべき課題

平成22年度は、前年度に引続き、厳しい事業環境下であり、先行き不透明な状況が続くことが予想されるなか、中期経営計画「NEXT計画」（平成21年度－平成23年度）の2年目として、以下の項目に重点的に取り組んでまいります。

- コスト競争力の強化
- 国内外での営業力強化
- エンジニアリング力の強化
- 商品企画・開発の加速

コスト競争力の強化

構想見積の精緻化

予実管理の徹底

購買機能の強化

国内外での営業力強化

内外一体化 「One Hirata」での取り組み

9カ国、10拠点も海外拠点網と国内の連携を強化し、受注および生産活動をグローバルに展開

東京営業部を新設

新規事業に対し、積極的な営業活動を展開

エンジニアリング力の強化

大型の新規案件が増加

**事業部間を横断する専門部隊として
エンジニアリング室を新設**

**3D技術を駆使し、
信頼性の高い設計業務を展開**

商品企画・開発の加速

開発センターを充実

新規事業分野である太陽電池事業

当社グループの強みを活かし、
セミターンキービジネスを展開



Hirata

The Global Production Engineering Company